

【EMD.GR.JP 掲載のニュース】
(2002年12月5日～
2003年1月8日分)

米 Microsoft、「Windows Media Player 9 Series」英語正式版をリリース

米 Microsoft は、デジタルコンテンツ配信技術「Windows Media」の最新バージョン「Windows Media 9 Series」に対応するソフトの英語正式版をリリースした。

メディアプレイヤー「Windows Media Player 9 Series」、デジタルコンテンツ制作・配信ソフト「Windows Media Encoder 9 Series」、ストリーミングサーバーの負荷テスト用ソフト「Windows Media Load Simulator 9 Series」の3種類が同社の Web サイトから無償でダウンロードできる。

「Windows Media Player 9 Series」は Windows XP 用と Windows 98/Me/2000 用があり、新機能の多くは Windows XP 用でしか利用できない。

なお、英語版は日本語 OS での動作が保証されていない。日本語正式版は 2003 年 1 月 29 日のリリースがアナウンスされている。
(1/8)

ソニー、アイワブランドを刷新

ソニーは、アイワのロゴマークを改定し、アイワブランドの刷新を発表した。

新ロゴは、躍動感に溢れ、新しい時代の波を創り出すアイワをイメージしたとしており、国内で 2003 年 2 月から発売の商品より順次採用される。

アイワの新しいブランド展開については、日本・米国・欧州など AV 商品の成熟市場では、「Net MD」やデジタルスチルカメラなどパソコンとつないで音楽や画像を楽しむことができる新規商品群を導入。

一方、中南米・アジア・中近東など AV 製品の成長市場では、商品力のさらなる強化を図るなど、地域ごとに最適な事業戦略を推進

していくとしている。

(1/8)

日立、マイクロドライブを 4GB に拡張

日立グローバルストレージテクノロジーズは、世界最小のハードディスク装置「マイクロドライブ」の記憶容量を 4GB に拡張し、2003 年秋に発売すると発表した。

マイクロドライブは、標準的なメモリーの規格であるコンパクト・フラッシュ Type の物理的条件を満たしたハードディスクドライブ。外形寸法は幅 42.8mm × 奥行き 36.4mm × 厚さ 5.0mm。

「ピクシー・ダスト(Pixie Dust)」技術を利用して線記録密度を大幅に向上、読み書きヘッドが従来製品の半分のサイズとなる「FEMTO ヘッド」を開発、ヘッドが円板上を浮上する高さ(フライト・ハイト)も約 40% 下げ、米 IBM が 2000 年 6 月発売した記憶容量 1GB の製品から大容量化を実現した。

この結果、PDA や携帯電話などの携帯情報機器で動画や音楽などの大容量コンテンツを扱えるようになり、今後、更なる用途の拡大が期待されるとしている。

株式会社日立グローバルストレージテクノロジーズは、日立が米 IBM の HDD 部門を買収して設立した Hitachi Global Storage Technologies (本社機能：米国カリフォルニア州)の日本法人として、2003 年 1 月 1 日に設立された。同社はハードディスク装置の開発・製造ならびに国内における販売を担当する。

(1/6)

総務省、11 月末のインターネット利用者数を発表

総務省は、2002 年 11 月末の時点でのインターネット接続サービスの利用者数速報を発表した。

いわゆるブロードバンドの利用者数としては、CATV インターネットが 190.1 万人、DSL が 5,117,867 人、FTTH が 172,344 人となっ

ている。

DSL の加入者が前月から 48 万増やし、ついに 500 万の大台を超えた。CATV インターネットは 4.9 万、FTTH は 3.4 万の増加となり ADSL に追いついている。

その他のトピックとしては、電話回線等を利用したダイヤルアップ型接続によるインターネット接続サービスの加入者数(発表は指数)が再び減少に転じている。

(12/27)

So-net、USEN が FTTH 事業提携で基本合意

ソニーコミュニケーションネットワーク(サービス名称 So-net)と有線ブロードネットワークス(USEN)は、USEN の連結対象子会社であるユーズコミュニケーションズ(UCOM)の光ファイバー(FTTH)インフラを利用したサービスを共同展開することで基本合意したと発表した。

今回の合意により、So-net は、UCOM の FTTH インフラを利用した So-net FTTH 接続サービスを 2003 年 2 月目途に提供する。

また、USEN は現在進めている営業活動の強化に加え、今回の So-net との提携により、マンション(集合住宅)などへの FTTH サービス展開を加速する。

さらに、新サービスの導入と利用促進に向けた So-net と USEN の関係をより強化するため、So-net は UCOM に対する出資を今後検討するとしている。

(12/25)

NTT ドコモ、公衆無線 LAN サービス「Mzone」のエリア拡大

NTT ドコモは、ウェンコ・ジャパン、日本ケンタッキー・フライド・チキン、ファーストキッチン、3 ファーストフードチェーンとタリーズコーヒージャパンの 1 カフェチェーンの一部店舗において、公衆無線 LAN サービス「Mzone」(エムゾーン)のエリアを拡大すると発表した。

今年度中を以てファーストフードチェーンとしてウェンディーズチェーン（運営元：ウェンコ・ジャパン）23店舗、ケンタッキーフライド・チキンチェーン 43店舗、ファーストキッチンチェーン 7店舗の計 73店舗、カフェチェーンとしてタリーズコーヒーチェーン 3店舗の合計 76店舗のエリア拡大を予定している。

(12/21)

SME、「bitmusic」配信曲のチェックアウト回数を3回に

ソニー・ミュージックエンタテインメント（SME）の音楽配信サイト「bitmusic」は、オーディオデータのチェックアウト回数を、従来の1回から3回に拡張すると発表した。

2002年12月20日正午より全曲のチェックアウト回数が3回となっている。この変更により、複数のNet MDやメモリースティック、ネットワークウォークマンなどのポータブルデバイスへのチェックアウトが行なえるようになる。

(12/21)

ITU-T、ケーブル・モデム標準規格「DOCSIS 2.0」を承認

CableLabsは、国際電気通信連合の電子通信標準化部門（ITU-T）がケーブル・モデム標準規格「DOCSIS（Data Over Cable Service Interface Specification）2.0」を「Recommendation J.122」勧告として承認したと発表した。

DOCSIS 2.0は、S-CDMA（synchronous code division multiple access）とA-TDMA（advanced frequency agile time division multiple access）という2つの変調方式を採用し、転送速度最大30Mbpsを実現し、IPケーブル・カム、IPコミュニケーション/テレフォニーといったサービス提供を視野に入れている。

また、DOCSIS 1.1（Recommendation J.112）と下位互換性を持ち、上りのデータ転送に焦点を当て、1.1より通信速度を向上し、安定性の強化を図っている。

同時にCableLabsでは、米Motorola、米Scientific-Atlanta、米Terayon Communication Systems、米Texas Instruments、韓国Xrosstechの5社のモデム製品にDOCSIS 2.0準拠の認定を与えたことを発表した。

(12/20)

マイクロソフト、Windows Media 9シリーズ日本語版を発表

マイクロソフトは、次世代デジタルプラットフォーム Microsoft Windows Media 9シリーズ日本語版を2003年1月29日（水）よりWindows Media Webサイトにて提供開始すると発表した。

Microsoft Windows Media 9シリーズは以下の製品から構成される、マイクロソフトの新メディアプラットフォーム。

- ・Windows Media Player 9シリーズ：デジタルメディアの再生ソフト
- ・Windows Media エンコーダ 9シリーズ：デジタルメディアのエンコーディングツール
- ・Windows Media サービス 9シリーズ：Windows .NET Server 2003に実装されている配信サーバ機能（ ）
- ・Windows Media DRM 9シリーズ：デジタルメディアの著作権保護技術
- ・Windows Media Audio/Video 9シリーズ：デジタルメディアの圧縮フォーマット
- ・Windows Media 9シリーズ SDK（英語版）：デジタルメディアの開発キット

Windows .NET Server 2003製品版は2003年内に提供予定

Microsoft Windows Media 9シリーズでは、ナローバンドからブロードバンドまで、様々なユーザー環境下での再生能力の向上、直感的な操作性や処理能力の向上、HD（High Definition）および5.1chによるPCホームシアターを実現する卓越した映像/オーディオ品質を提供する。

今回、提供開始にあわせて、製品発表イベントとして「Windows Media 9シリーズ Digital Media Day & Digital Media Night」

が同日、赤坂ACTシアターにて開催される。
(12/19)

NTT Com、ホットスポット 24時間利用プリペイドカードを発売

NTTコミュニケーションズ（略称：NTT Com）は、2002年5月15日より月額定額で提供している無線LANサービス「ホットスポット」に、新たに1日利用のプリペイドカードを販売すると発表した。

スクラッチ型プリペイドカードを購入することによりログインに必要な情報（IDなど）を入手でき、これにより無線LAN対応のパソコンや携帯情報端末（PDA）からブロードバンドインターネットなどへの接続が利用可能となる。

カードの種類は1DAY PASSPORTのみ。利用できる時間は24時間。初回のログイン時刻から起算して翌日の同時刻まで利用可能で、時間内では何度でもログイン可能となっている。

販売価格は1枚500円。ビッグビーカンの各店舗、プリンスホテル各館の他、シャープのWebサイト（SSTショッピングタウンkutikomi）でも販売される。

(12/18)

Coding Technologies、松下、NEC、MPEG-4 AAC PlusのローパワーSBR技術を開発

Coding Technologies、松下電器産業、NECの3社は、2003年5月規格化予定のオーディオ符号化技術MPEG-4 AAC Plus SBR（aacPlus）に比べて低演算量を実現するモバイル、ポータブル機器向けのローパワーSBR方式を共同開発し、2002年10月のMPEG上海会議でMPEGの最終委員会原案に採用されたと発表した。

aacPlusは、MPEGのAAC（Advanced Audio Coding）方式と、Coding Technologiesが開発した、再生帯域を拡大するSBR（Spectral Band Replication）技術を組み合わせたもの。従来のAACの約半分の情報量で同等の音質を実現することができる。

SBR 技術自体は、既存の様々なオーディオコーデックと互換性を保ちながら組み合わせることができ、たとえば mp3PRO は、MP3 にこの SBR 技術を適用したのとなっている。

今回 3 社が開発したローパワー-SBR 方式は、従来の SBR 方式よりデコード処理を 40% 少ない演算量で実現でき、かつ 48kbps (ステレオ) 時でも CD に迫る高音質再生を実現することができる。

そのため、携帯電話をはじめとするモバイル、ポータブル機器で要求される低消費電力のプロセッサでも余裕を持って実装でき、戸外でも高音質の音楽を長時間楽しむことが可能になるとしている。

なお、今回の MPEG-4 aacPlus で使われるローパワー-SBR 技術に関するライセンス窓口は、Coding Technologies が担当する予定となっている。

(12/12)

有線ブロード、11 月末時点で FTTH3 万回線を突破

有線ブロードネットワークスは、ブロードバンド事業 (FTTH ブロードバンドインターネットサービス) について、2002 年 11 月末時点の進捗状況を発表した。

これによると、工事日が確定している契約者数が 53,218 件、回線が開通している取り付け数が 32,731 件となり、取り付け数が初めて 3 万を越えた。

これらの数字を 10 月末時点のものと同様に比べると、契約者数で約 14,000 件、取り付け数で 10,000 件を超える増加となっている。また、展開エリア数は 91 から 96 となっている。

なお、2002 年 11 月 1 日付でパワーバンドの営業権を譲り受けた為、パワーバンドが従来より保有していたユーザー数 (5,900 件) を、11 月度より合算して計上している。

(12/11)

NTT-BP、「無線 LAN 倶楽部」の本格提供開始を発表

エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム (NTT-BP) は、2002 年 11 月 22 日 (金) に第一種電気通信事業の許可を受けたことから、駅を拠点とした無線スポットアクセスサービス「無線 LAN 倶楽部」を 2002 年 12 月 21 日 (土) より京王電鉄、京浜急行電鉄と共同で本格提供すると発表した。

サービスは、無線方式に IEEE802.11b (2.4GHz) を利用し、契約単位は契約する無線 LAN カード毎 1 契約 (1MAC アドレス毎) となる。

サービス内容としては、PC・PDA 等向けのインターネット接続と PDA 向けのコンテンツシンクロサービスがある。コンテンツシンクロサービスの配信システムについては、ピーマップの「AirCompass」を採用、具体的なコンテンツには、新聞、ニュース、雑誌、学習、書籍、エンターテインメント、タウン情報などを用意している。

料金は契約料が 1,500 円、月額基本料は 1,500 円。月額基本料にはインターネットへの接続料金 (使い放題、定額) 及び、PDA 利用者向けにはコンテンツシンクロサービスで利用できる「無線 LAN 倶楽部コンテンツパック」を含んでいる。

提供エリアは京浜急行電鉄沿線では、トライアルに引き続き品川駅と上大岡駅、提供予定として羽田空港駅、京急川崎駅、横浜駅、金沢文庫駅、横須賀中央駅、京急久里浜駅、YRP 野比駅が予定されている。

京王電鉄沿線では、トライアルに引き続き新宿駅、府中駅、聖蹟桜ヶ丘駅、京王プラザホテル (新宿) 提供予定として初台駅、明大前駅、京王多摩センター駅、京王八王子駅、渋谷駅、吉祥寺駅を予定している。

また、他の鉄道会社にも参加を呼びかけスポットの拡大と利用者の利便性向上を目指していくとしている。

(12/11)

米 RealNetworks、「Helix DNA Producer」のソースコードを公開

米 RealNetworks は、オープン・ソースのストリーミングコンテンツエンコーダー「Helix DNA Producer」を公開したと発表した。

RealNetworks が 2002 年 7 月に「Helix Platform」とともに発表したソースコード公開の取り組み「Helix Community」のもとで提供される。2002 年 10 月に公開したクライアントソフト「Helix DNA Client」に続くものとなる。

Helix DNA Producer は、Windows と Linux に対応しており、MacOS X のプリベータリリースも公開される。

いずれも、非営利目的向けの「RealNetworks Public Source License (RPSL)」と商用目的向けの「RealNetworks Community Source License (RCSL)」という Helix Community による 2 つのライセンス体系で提供される。

他のプラットフォームに Helix DNA Producer を移植するコミュニティーソースライセンシーには、その目的のために RealAudio と RealVideo のソースコードにアクセスする権利が与えられる。それ以外のライセンシーには RealAudio と RealVideo のバイナリーが提供される。

(12/10)

11 月末の DSL 加入者数は 510 万強

総務省から 2002 年 11 月末時点の DSL 加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は 5,117,867 で、これは前月末の 10.3% 増。増加率は前月から 0.4% のプラス。

内訳を見ると NTT 東西のフレッツ ADSL での加入者が 1,954,397、他事業者経由の DSL 加入者が残りの 3,163,470 で、NTT 東西のフレッツ ADSL のシェアは 38.2% と前月から 1.5% のマイナス。

(12/10)

ソニー、メモリスティック Duo 対応プレーヤーを発表

ソニーは、「ネットワークウォークマン」の新商品として、IC 記録メディア「マジックゲートメモリスティック Duo (デュオ)」に対応した『NW-MS70D』を発売すると発表した。発売は2003年2月10日、価格はオープン。

『NW-MS70D』は256MBフラッシュメモリーを内蔵。コーデックは音声圧縮技術ATRAC3に加え、新たにATRAC3plusを採用。高音質を保ちながら音声データをCDの約1/20に圧縮することができる。

PC上で音楽ファイルを管理するソフトウェアとして「SonicStage ver.1.5」を付属。著作権を保護しながら、音楽CDや音楽配信サービスから音楽ファイルをPCのHDDに記録・管理し、USBクレードルを介して本機にチェックアウト(データ転送)できる。

また、低電力半導体技術「Virtual Mobile Engine」を採用した新開発LSIを搭載し、消費電力を従来機より大幅に低減、最長約33時間の連続再生が可能となっている。

サイズは約36.4×48.5×18.0mm(幅×高さ×奥行き)(最大突起含まず)。小型オーディオ機器では初めて採用のチタン深絞り加工による継ぎ目の無い筐体に、さらにチタンを蒸着させるイオンプレーティング処理を施すことで、剛性が高くキズのつきにくい新しい質感を実現している。

同時に「マジックゲートメモリスティック Duo (デュオ)」『MSG-M64A』(メモリー容量64MB)を発売、『MSG-M128A』(同128MB)も2003年3月21日発売予定となっている。(12/10)

米 Liquid Audio、解散を決議

米 Liquid Audio は、同社の取締役会において、現金資産を株主に分配後、解散すると決議したと発表した。

2002年12月10日時点の株主に対して、同社の現金資産を1株あたり\$2.5で分配。この期日を2002年12月20日とし、その後残

りの資産処理を済ませた上で、正式に解散するとしている。

(12/7)

「Yahoo! BB」会員、150万人突破

ソフトバンクは、全額出資子会社ビー・ビー・テクノロジーがヤフーと共同で提供しているブロードバンド総合サービス「Yahoo! BB」の進捗状況を発表した。

それによると、11月末でYahoo! BB会員は146万1000人、前月比で25万2000人の増加。また、Yahoo! BBと同時に提供されるIP電話「BBフォン」の利用登録者数は102万8000人。

なお、12月5日で150万回線(150.4万回線)を突破したとも伝えている。

(12/6)

DDI ポケット、PDA へのプッシュ型情報発信サービスを提供

DDIポケットは、企業が構築するPDAへの情報配信システムをサポートする「WakeOnサービス(ウェイクオンサービス)」を提供すると発表した。

「WakeOnサービス」は、PDAを遠隔から起動させて同時にPDA内に指示を送り込むことができるサービス。

PDAに接続されたAirH™端末に対して「PDAの起動指示などを含むメール」を送出する「WakeOnセンター」を設置し、AirH™端末(PDA側)向けのWakeOnトリガーメッセージの送信とWakeOnトリガーメッセージの送達結果を外部サーバに返信(Eメール)を提供する。

このサービスを活用すると、例えば、「社内メールが届いた時に、遠隔からPDAを起動させて同時にPDAに対して社内のサーバにアクセスするように指示を出してメールを受信させる」ことなどが可能になる。

他にも、毎日PDA向けのニュース配信を行うなどプッシュ型コンテンツ配信を構築さ

れるコンテンツプロバイダなどを想定している。

提供開始は2003年1月7日より。

(12/6)

NTT 東日本、「M フレッツ」を本格提供開始

NTT 東日本は、無線 LAN 技術を利用して自宅と同様の環境で外出先でもインターネットの利用や企業等へのリモートアクセスが可能になるサービス「M フレッツ」を、2003年1月より本格サービスとして提供を開始すると発表した。

「M フレッツ」は、B フレッツ、フレッツ・ADSL、フレッツ・ISDN 利用者に対して、無線 LAN 技術を利用したブロードバンド IP 利用環境を提供するサービスです。2002年6月より試験サービスとして提供されていた。

無線 LAN 利用者向けメニュー「M フレッツ ツメイト」の利用者は、無線アクセスポイント設置者向けメニュー「M フレッツホスト」の利用者が提供する無線 LAN アクセスポイントにおいて、セキュリティの高い無線 LAN によるインターネットの利用や企業等へのリモートアクセスが可能となる。

提供エリアは、M フレッツホストが東京(町田市及び稲城市の一部のエリアを除く)と北海道、M フレッツツメイトが東京・神奈川・千葉・埼玉・北海道。

料金は、ホストの基本料金が月額700円。同時利用人数ごとに同200円が加算される。ツメイトは月額200円。それぞれ初期工事費も必要。

提供開始は2003年1月1日より。

(12/6)

MIS、無線 LAN サービス「Genuine」を休止

モバイルインターネットサービス(MIS)は、無線 LAN サービス「Genuine」を12月下旬をめどに休止すると発表した。

Genuineは2002年4月よりIEEE 802.11bに準拠した商用の無線LANサービス。

しかしながら、基地局の設置個所による利用実感が大きくことなり、極めて低い稼働率の基地局も多く、エリア選定を根本的に見直す必要から休止を決めたとしている。

サービス休止に伴い、解約ユーザーには返金処理を実施。モバイルプランのユーザーは事務手数料相当分の2,000円が返金されるほか、解約申し込み時点での未請求分を含む以後の利用請求を停止する。

年間モバイルプランのユーザーは同様に2,000円を返金、加入申し込みの翌月から解約前月の期間を利用月数とし、残月分を返金する。

(12/5)

は月額定額制で1,400円、完全従量制で10円/分となっている。

また、IP電話サービス「So-netフォン」の試験サービスも2002年12月24日より開始する。

(12/5)

So-net、無線LAN、PHSパケット通信の各サービスを提供

ソニーコミュニケーションネットワーク(サービス名称: So-net)は、「いつでも、どこでも」ネットワークに接続できるPHSパケット通信サービスならびに無線LAN接続サービスを順次展開していくと発表した。

PHSパケット通信サービスは、専用通信カードとDDIポケットの無線IP接続サービスを利用したMVNO(Mobile Virtual Network Operator)方式によるPHS網を用い、無制限のPHSパケットデータ通信が行えるサービス。

サービス開始は2003年2月を予定。初期費用として登録手数料が1,000円、カード代金として19,800円(専用データ通信カード(CFタイプ))が必要。月額基本料はとことんコース(ダイヤルアップ定額)とのセットコースで128kbpsパケット接続が8,500円(無制限)、32kbpsパケット接続が5,300円(無制限)。

無線LAN接続サービスはNTTコミュニケーションズの無線LANサービス「ホットスポット」のサービスエリアでのインターネット接続サービス。

サービス開始は2003年2月を予定。料金

EMD Magazine 第28号

発行 2003年1月13日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダース